

# 水田たより 10月号

令和2年10月 1日

J A みえきた

桑名地域農業改良普及センター

## 令和2年産水稲作柄概況

三重県における9月15日現在の作況指数は96（やや不良）と見込まれています。穂数は5月から6月が高温で推移し分けつ期間が短縮されたことから少ない、登熟は7月の低温・日照不足及び8月の高温の影響がみられるものの平年並み、と見込まれています。

○作柄概況

（9月15日現在、農林水産省東海農政局 9月30日公表）

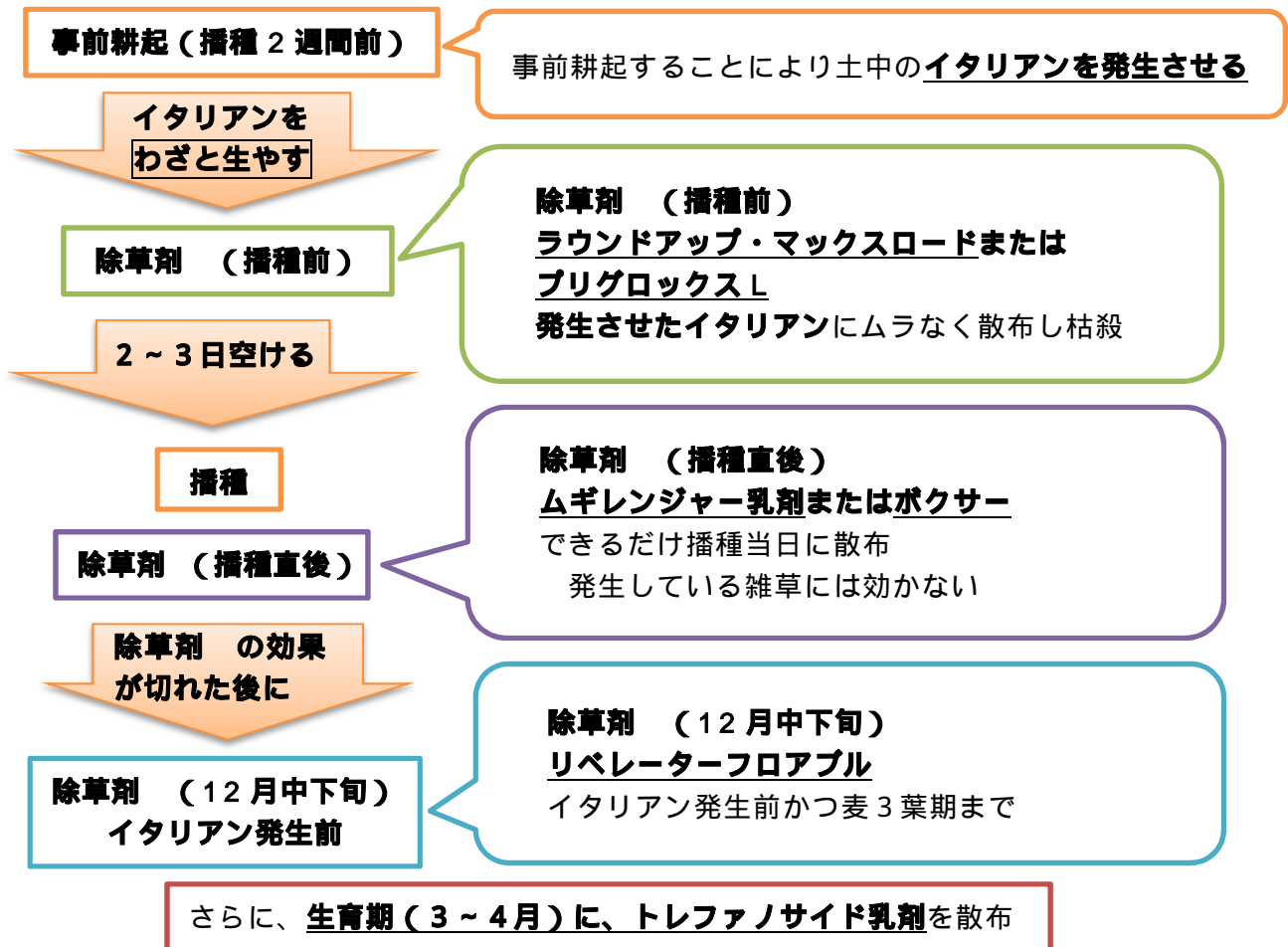
	予想収量（前年差）	作況指数	作柄の良否	穂数	1穂あたりもみ数	全もみ数	登熟
北勢	471kg/10a（+2kg）	96	やや不良	少ない	やや多い	やや少ない	平年並み
三重県	479kg/10a（+2kg）						

## 麦のほ場準備・播種準備

雑草対策・排水対策を徹底し、適期播種につとめましょう！

### 固定転作等による難防除雑草対策

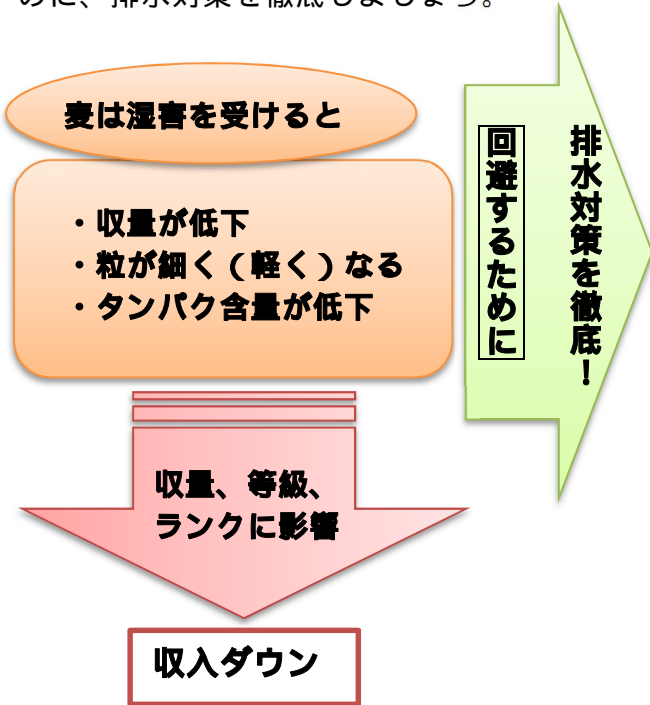
近年、イタリアンライグラス（以下「イタリアン」）が蔓延したほ場が見られます。茎葉処理剤や土壌処理剤を組み合わせた体系防除等を実施し、少しずつ雑草種子を減らしていきましょう。



農薬の使用にあたっては、ラベルに記載された内容を十分に確認してください。  
（裏面へ）

## 排水対策

麦は湿害により、収量・品質に大きく影響を受け、収入減につながります。湿害を回避するために、排水対策を徹底しましょう。



### < 収穫まで明渠を補修・維持しましょう！ >

- 明渠を連結し、排水溝と排水口を繋げ、排水口から水が流れるようにしましょう。
- 幼穂形成期の麦は特に湿害を受けやすいため、**春前にも明渠の点検・補修**を実施しましょう。



明渠が繋がっていないほ場  
降雨後に水が溜まってしまっている。

## 播種

### 適期播種

小麦の場合、播種は 11月上旬～中旬 となるようにしてください。麦類は発芽までに約 100 の積算気温が必要とされています。播種時期が遅れると気温の低下により発芽が遅れ、生育不足による収量低下、収穫時の雨害を引き起こす危険があります。気温低下の前に出芽、生育を確保することが大切です。遅くとも 11月末 までには播種作業を終了しましょう。

### 播種量

通常（11月中旬）の条播きの場合は 8kg/10a を目安に調整してください。播種量は多過ぎても過繁茂になり、倒伏や品質の低下を引き起こすことがあります。ただし、播き遅れた場合には、茎数を確保するため播種量を増やす（10日遅れるごとに 1kg/10a 増量する）ことも有効です。播種深度は 1～3cm 程度が目安ですが、土壤乾燥時にはやや深めに調整しましょう。

### ○播種量の目安

時 期	11 月上～中旬	11 月下旬	12 月上旬	12 月中旬
播 種 量 (10a あたり)	8kg	9kg	10kg	11kg



LINE 公式アカウント はじめました！

桑名普及センターでは、LINE 公式アカウントを取得し、作物関係の情報を配信しております。JA 及び普及センターが配布しております、紙ベースの水田たより等から友だち追加を行ってください。ホームページにおいては、これまで通り、過去の水田たよりや他の情報も掲載しています。桑名普及でご検索ください。